

令和5年度 根本正顕彰会公開講座（報告）

日 時	令和5年11月23日（木）
会 場	那珂市中央公民館 講座室
講 師	顧問 海野 徹氏（元那珂市長）
題 目	「顕彰会立ち上げ時の思い出」
	参加者 27名

山田正巳会長の挨拶の後、司会者から秋の叙勲において、海野 徹氏が「旭日小綬章」を授与された件が発表されました。おめでとうございます。

続いて、顕彰会が立ち上がってから25年になりますが、海野氏は当時の記憶を掘り起しながら、講演が始まりました。

設立当時のことは大変懐かしそうで、事務局長として、東奔西走し「長久保赤水顕彰会」などをお手本として、会則、会費、運営の方法などを策定したとのことでした。

その後、別添のレジメに沿って、外交史料館など精力的に駆け回ったことなど設立にまつわる事項を順次、当時を回想しながら講演されました。

なお、海野氏の根本正への思いは人一倍強く、市長としての在任中には、根本正を含めた4人の名誉市民を制定しております。

講演の後に質疑応答に入り数件の質問がありましたが、皆さん、熱ぼっく質問されていることを感じ取りました。

その中で、那珂市名誉市民を市役所のロビーに掲示されてはという意見がありました。

この件につきましては、海野氏も講演のなかで申されており、現市長の先崎 光氏も挨拶のなかで触れておりました。

顕彰会としても、今後の課題として進められたらと思います



海野 徹氏



会場風景

顕彰会立ち上げ時の思い出

- 一村一文化創造事業
- 茨城県から100万円3年間継続事業
- 那珂町から100万円3年間継続事業
- メンバーの公募（16名の参加）
- 若者、馬鹿者、変り者
- なかなか塾創設
- 初代塾長は高畑精一さん
- 那珂八景
- 一番地物語
- ため池物語
- 根本正顕彰事業
- 加藤純二先生執筆『未成年者飲酒禁止法を作った人 根本正伝』
- 仲田昭一先生のご指導を頂く
- 長久保赤水顕彰会のご指導
- 佐川春久生涯学習課長（当時）現長久保赤水顕彰会長のアドバイス
- 顕彰会会長大崎侑一画伯の御指導
- 佐川安應（やすまさ）さん
- 赤水地図と総務省（竹島）
- 長久保赤水顕彰会会員は約800人
- 議員立法
- チャンピックス
- シアナマイド
- 常陽芸文・根本正男さん
- 生誕の地石碑・海後宗文さん
- 朝日新聞村野記者「教育立国の恩人」キャッチフレーズ
- NHK・中学生日記
- 記念館（常設）
- テレビドラマ（60分）
- 胸像を市役所ロビーに設置
- 青山霊園歴史的墓所ガイドに根本先生の名を記載
- 那珂市立小中学校における授業取り組み

根本正先生との出会いと顕彰会設立の思い出

海野 徹

私が根本正先生のお名前やその功績について知ったのは、恥ずかしながら平成8年、当時47歳の時です。

母が昵懇にさせていただいていた根本静江先生（根本先生の分家筋で那珂市ふるさと大使の根本直さんのご母堂、故人）から頂いた『根本正伝』という著書を拝読したのがきっかけでした。

著者は御承知のように仙台の内科医院院長の加藤純二先生（那珂市ふるさと大使）で、アルコール依存症関係の禁止運動に関する論文を作成中、根本正という人物に遭遇しその人間性やひたむきに努力を重ねる姿勢と国民の福利向上・青少年の健全育成に渾身に取り組む姿に感動し（未成年者飲酒禁止法を作った人『根本正伝』）を上梓するに至ったことを後日お聞きしました。

当時私は、那珂町役場が主導する地域活性化や地域興しを目的とする『なかなか塾』に参加しており、事業の一環として根本先生について調査をして行こうと後藤啓文さんを責任者として、高畑精一さん（なかなか塾塾長）と私が仲間に入りました。

顕彰会を立ち上げるにはどのように手続きを進めればよいか、仲田昭一先生（後に茨城県立日立第二高校校長、那珂市歴史民俗資料館館長）のご自宅を三人で訪問し懇切丁寧なご指導をいただきました。

又、先進事例を参考にしようと高萩市の『長久保赤水顕彰会』を訪ね、当時の大崎宥一会長や生涯学習課長の佐川春久さん（後に総務部長、現在顕彰会会長）の職場や大能のご自宅をお尋ねし沢山の事をご教示いただきました。

高萩市には根本先生の幼少時代の神社の塾の先生であった佐川伊予之介の顕彰碑（佐川愛廣先生の碑の撰文が根本先生）が高萩高校へ至る中段にある事や、佐川伊予之介が佐川春久さんの分家筋に当たる事、又、墓地が同じであることなど偶然の発見に驚いた記憶があります。

その後複数回にわたり高萩に足を運び、会則や会費、運営の方法について教えを賜りました。現在の根本正顕彰会の会則、会費は長久保赤水顕彰会を参考にほぼ同じに策定したものです。顕彰会の設立総会が平成9年に開催され初代会長には柏村一郎さん（故人）が就任されました。

柏村さんの根本先生に対しての思い入れは大変強く、用意されていた論文は格調高くかつ長文のものでした。

柏村会長をはじめ役員・会員ともに熱心に活動を展開していく事になりました。国立国会図書館や、外交史料館、国立公文書館など、あるいは根本先生のお孫さんである根本正廣さんのご自宅を資料収集のために私の車で案内したことを懐かしく思い出します。

海後宗文さん（桜田門外の変、烈士海後礎之介の本家筋で三島神社宮司、故人）は何とか顕彰事業を盛り上げようと、根本先生の生家（根本正治さん宅）に『根本正先生生誕の地』を海後さんの自費で建立しました。

海野さん花火を打ち上げようや、と言う言葉は今も忘れません。